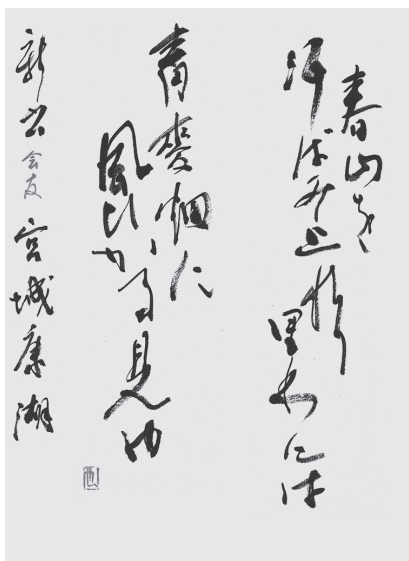


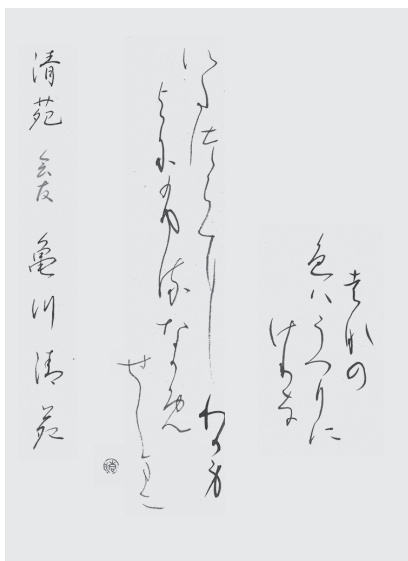
今月の最優秀作品

【新和様半紙】



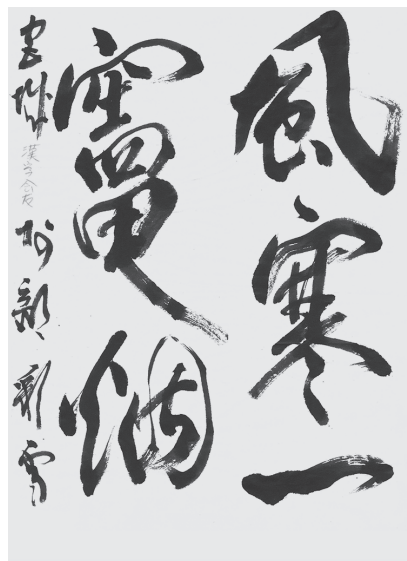
新書 宮城 康湖 鋒先の弾力を自在に駆使した太細ある線は切れが良く氣勢にあふれている。変化と巧まざる構成が魅力ある作。
(審査評 二宮 桂秀)

【かな半紙】



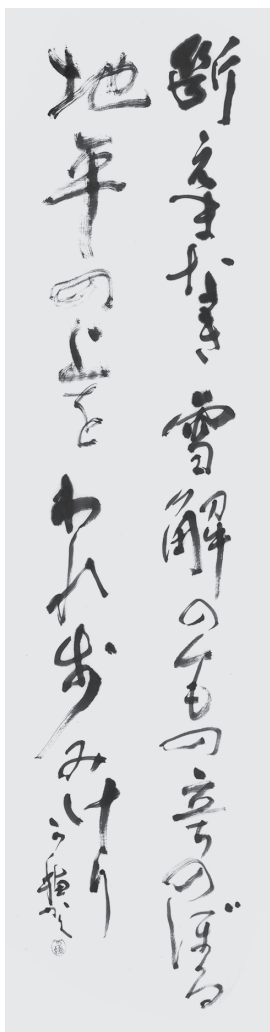
清苑 亀川 清苑 墨色美しく、一本一本の線にふくらみがあり柔らかに暖かみのある作品に纏めた。「わが身」の行脚での含墨も良し。「せし万二」の布置に一考を求める。
(審査評 岩浪 春鳥)

【漢字半紙】



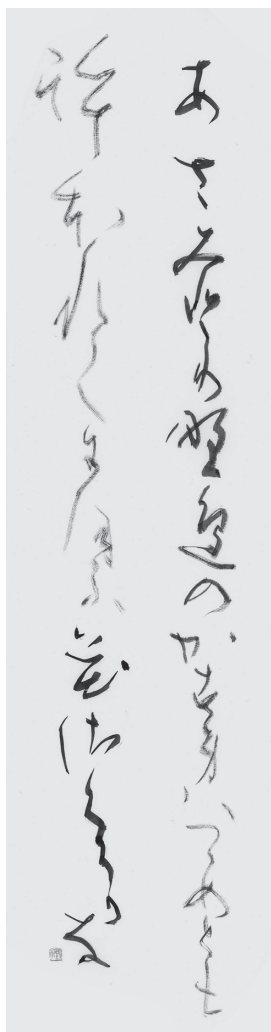
宮城 阿部 絹子 「雲煙飛動」多彩な線を緩急自在に駆使し、各文字が生き生きと躍動し力強い。特に「籠」が出色。落款も良。
(審査評 池田 知之)

【新和様条幅】



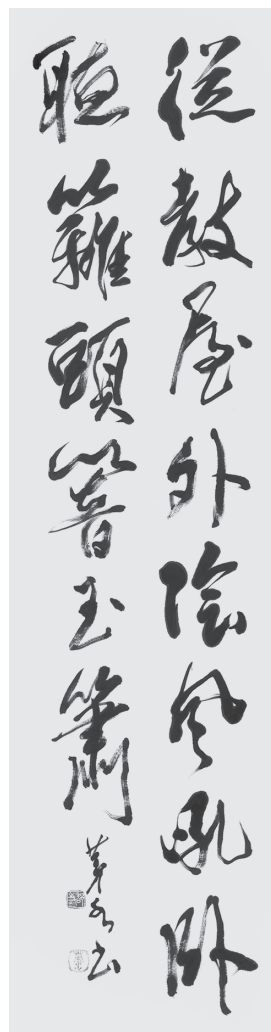
神奈 真藤 可穂 潤濁、文字の大小、疎密、行間の余白、墨色の美しさ、落款の位置など、すべての点において留意され、変化と統一のある品致ある作。
(審査評 東仲 遙邨)

【かな条幅】



小諸 鈴木真理子 墨色の変化が立体感を生み、歌中の霞と花桜の景色が思い浮かぶかのよう。自然な書きぶりで、結句をお洒落にまとめた清々しい作。
(審査評 川島 史子)

【漢字条幅】



松 角田 茅水 連綿しない行草体に線条の太細の変化をもたせた無理のない作品である。観る人の足を止めさせる気持ちのよい秀作。
(審査評 永井 香樹)

4月提出の競書の写真版全作品は、4月23日(木)より本会ホームページに掲載いたします。

紅絲 準六 見山美穂
風寒一
竈烟

草廬 準七 和田恵子
風寒一
竈烟

瓦釜 準八 藤久美
風寒一
竈烟

西湘 準全 瀬戸素香
風寒一
竈烟

豊里 全友 中島正名
風寒一
竈烟

書学 準六 富田真実子
風寒一
竈烟

若雷 準七 北澤壽男
風寒一
竈烟

千草 準七 瀬戸玲子
風寒一
竈烟

舞舞 準全 志村智子
風寒一
竈烟

舞舞 準全 藤田千代子
風寒一
竈烟

書学 準七 磯上草春
雖愚
不惑

栗山 準七 小山美祥
風寒一
竈烟

秋 準七 高野美
風寒一
竈烟

石松 準八 小見山智子
風寒一
竈烟

糸原 準全 佐川政子
風寒一
竈烟

分水 準五 外山恭花
雖愚
不惑

志那 準七 岩久美
風寒一
竈烟

恵羽 準七 小茶也
風寒一
竈烟

書学 準八 豊福遥月
風寒一
竈烟

百合 準全 外山吉代
風寒一
竈烟

南五 準五 塩田洋子
雖愚
不惑

園 準六 中村成菜
風寒一
竈烟

青 準七 和田留子
風寒一
竈烟

書学 準八 伊藤律子
風寒一
竈烟

水 準全 北井留子
風寒一
竈烟

苗 準五 大崎秀子
雖愚
不惑

書学 準七 桑原真香
風寒一
竈烟

書学 準七 志村史代
風寒一
竈烟

月 準八 市川美穂
風寒一
竈烟

三季 準全 堀江香織
風寒一
竈烟

書学
不雖
或愚
松本千尋

友和洋二
不雖
或愚
安富美和子

紅丸
不雖
或愚
準三高木揚子

番竹
不雖
或愚
天竺利衣子

大
不雖
或愚
柳洋五 玉田 規興

春日
不雖
或愚
押田 千春

書学
不雖
或愚
半一 荒井静枝

書学
不雖
或愚
三三 山本志市

そら
不雖
或愚
前田 游月

法水
不雖
或愚
橋本未紀

水藍
不雖
或愚
佐久間明美

書学
不雖
或愚
初段 加藤詩道

昭島
不雖
或愚
二 中村 恭子

不雖
或愚
菊川 庄 酒井善子

日南四段
不雖
或愚
植村修二

書学
不雖
或愚
道川麻美

春日
不雖
或愚
初 星山淑恵

書学
不雖
或愚
二 松本麻里

春日
不雖
或愚
二 杉山 信子

書学
不雖
或愚
四 齋藤和子

文秀
不雖
或愚
温佳珠

道
不雖
或愚
初 宮崎真珠紀

海光
不雖
或愚
二 竹内真以子

万聖
不雖
或愚
二 前田 香織

彩
不雖
或愚
初 脇谷水彩

書学
不雖
或愚
唐木真理子

ST
不雖
或愚
準初 桜井尚美

豊泉
不雖
或愚
半一 豊丹生 拓真

書学
不雖
或愚
準三 字下 房奈

書学
不雖
或愚
道 細川美帆

疑弁
星転
向井千恵美

疑弁
星転
星野亜子

不雅
或愚
青池真理子

不雅
或愚
永瀬香杜

不雅
或愚
矢口あかり

疑弁
星転
秋山貴巳

疑弁
星転
田中真子

不雅
或愚
高崎嶺子

不雅
或愚
岡部智子

不雅
或愚
喜多木錦子

疑弁
星転
佐藤綾乃

疑弁
星転
松田順子

不雅
或愚
谷生萌華

不雅
或愚
前川ひろみ

不雅
或愚
高橋千賀子

疑弁
星転
須山知世

疑弁
星転
古屋和子

不雅
或愚
宇田菜月

不雅
或愚
網野和子

不雅
或愚
武石有希子

疑弁
星転
脇田清葉

疑弁
星転
遠間京子

疑弁
星転
星島智子

不雅
或愚
鈴木里奈

不雅
或愚
長田侑子

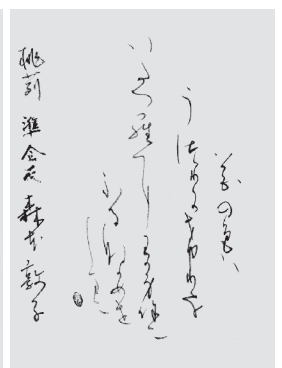
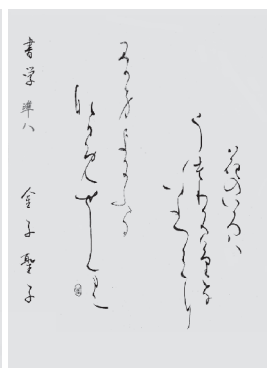
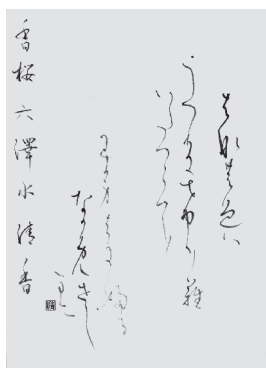
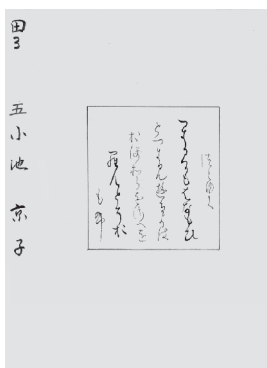
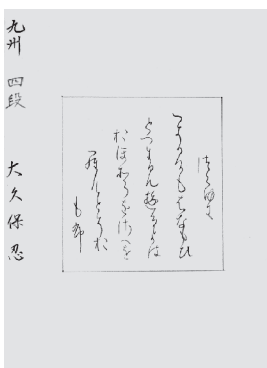
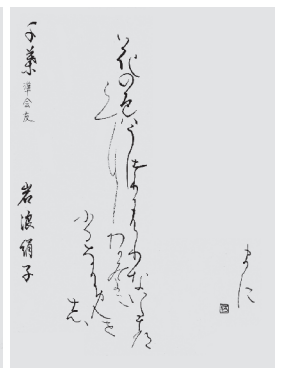
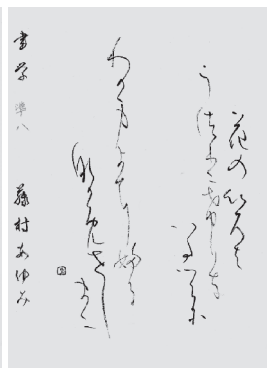
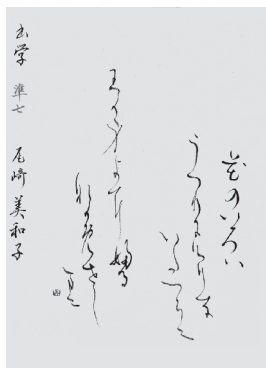
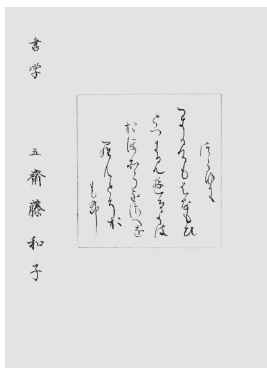
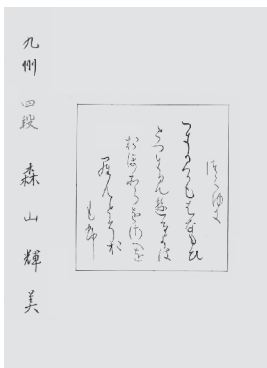
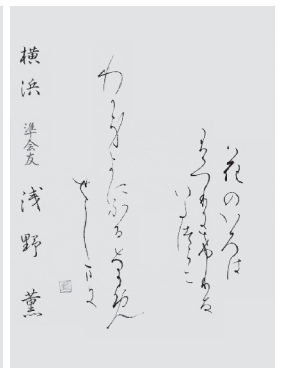
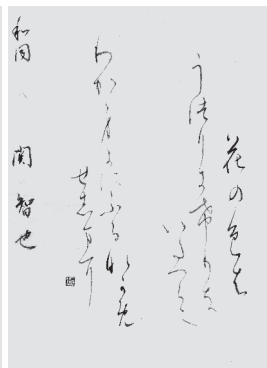
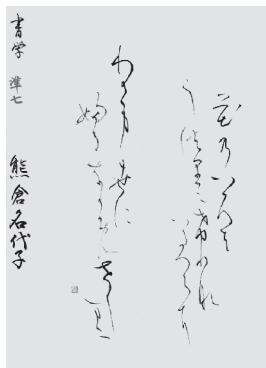
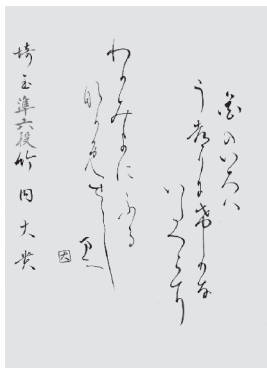
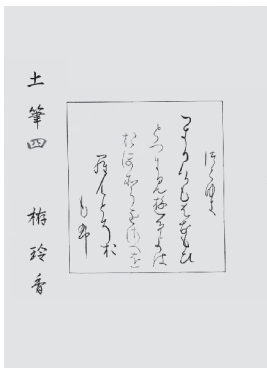
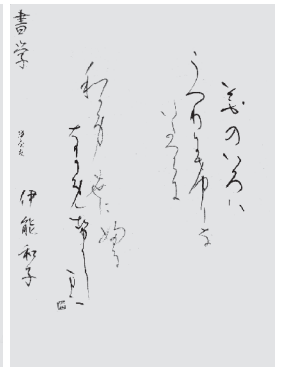
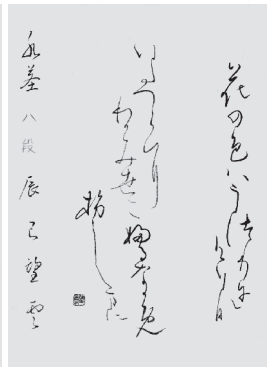
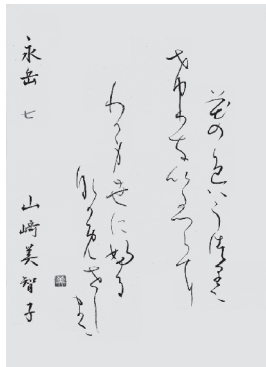
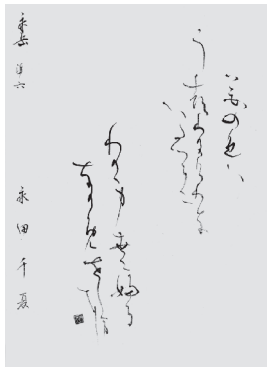
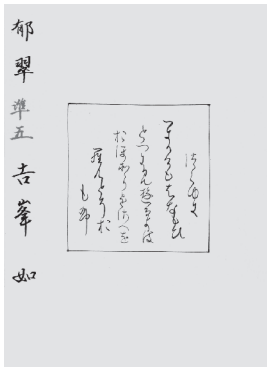
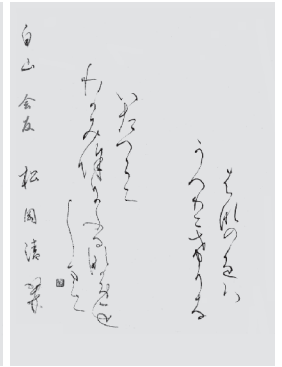
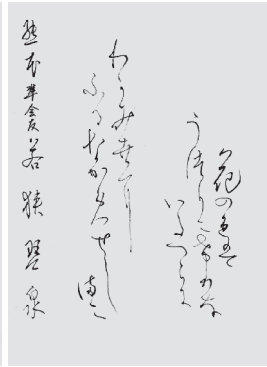
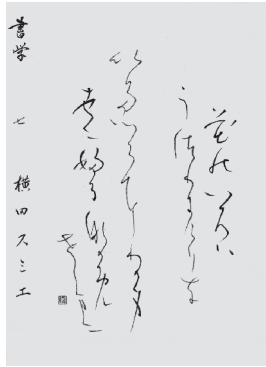
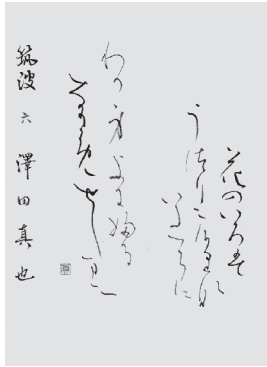
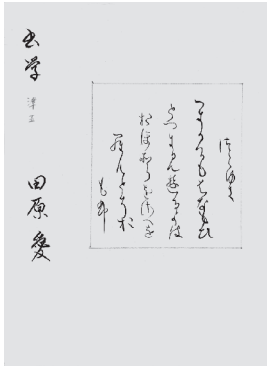
疑弁
星転
荒井絵梨

疑弁
星転
林千晶

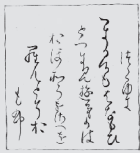
疑弁
星転
山科光乙

不雅
或愚
増本智子


不雅
或愚
二見奈美



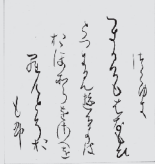
長淑
初
真木 綾子



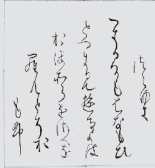
書学
二
安江 恭子



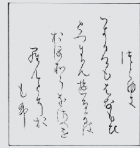
書学
二
穂奈美子



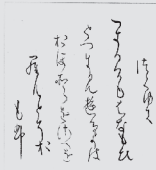
書学
準二
田口 育恵



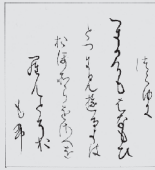
三松
準四
藤原 美佳



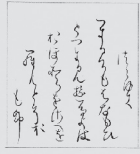
書学
準初
荒井 静枝



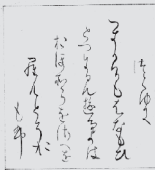
紙余
初
小川 純子



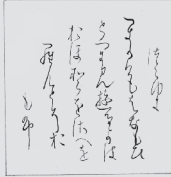
公学
二段
大石 有紀



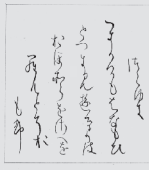
書学
準三
山根 美枝子



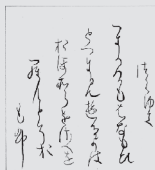
加茂 準四
高野 峰子



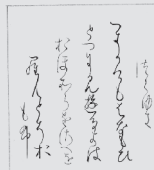
書学
準初
伊藤 旭花



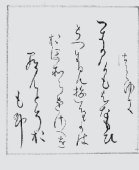
書学
初
清水 陽子



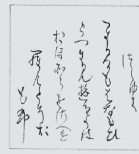
清
準二
鈴木 明子



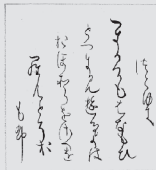
書学
準三
高杉 真理子



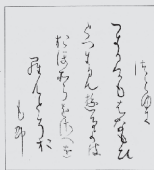
青空
準四
柳山 由佳



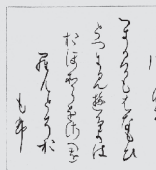
公学
準初
徳田 友美



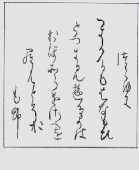
書学
初
安藤 雅子



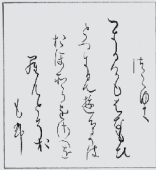
青梅
準二
石嶋 紀子



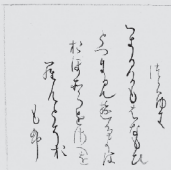
書学
二
榎澤 一浩



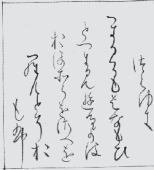
公学
三
宮下 善奈



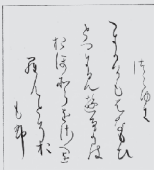
書学
準初
的場 真木子



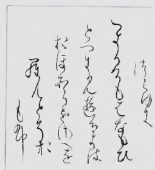
書学
一
葉山 敬子



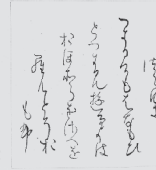
藍
準二
園山 楊雪



品濃
藤井 美帆



川口
三反
的場 直子



文京 平野成子 7級
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

書学 西山京子
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

学心 橋崎美智子 4
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

紅庭 笹川智美 2
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

宇土準初 白井桂子
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

春日 安生恵照
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

旺石 西田舟芳 6
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

和同 高原光江 4
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 植月直美
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

南丘 宮崎千世子 1
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 尾崎祐仁
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

静芳 宇野ひとみ 6
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

一揚 金子有志 5
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

もも 鬼頭絵里香 3
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 林幸子 1
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 今中直美 9
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

清和 白鳥快枝 7
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

書学 林公美 5
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

CZ ベトル
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 林実千子 2
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 鈴木朱美 10
 いろはにほへ
 とちりねるを
 わかよたれそ
 つねならむう

書学 三島直美 7
 ほろりとそそれく
 さのけけるかせ
 こそまろりける

清月 小林憲一 5
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

沙美 末広恵子 4
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

書学 松本康乃 2
 みわしほはやはらぎとてくらきとよよ
 早まわふふのうらやまの香

志那 若久 以美
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

小嶺 七 小畑 文重
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 八 新田 洵
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

伊賀 金友 名田 若代
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

伊賀 金友 名田 若代
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

大藤 六 江木 千恵子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

南正 洋七 遠藤 友佳
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

水谷 三 源 貴美
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

高田 金友 秋原 隆
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

高田 金友 秋原 隆
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 準六 富田 真実子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

加西 洋七 小田 七重
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 八 和久津 玉峰
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

仙水 八 川口 凛々
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

一穂 金友 吉田 茶子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 準六 久米 寿美
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

和月 下馬 小徹
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 七 河口 昭子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

さし 八 松田 陽子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 準六 伊藤 節子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 大宮 静子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

水谷 六 吉田 和希
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

加茂 七 池内 美
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

小峰 八 藤原 美幸
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

吉学 準六 橋本 美智子
春山を汗ばみ
上れり
里わたり
青麦畑に風
ふかす見ゆ

新和様半紙

今月の優秀作品

北 初段 南木 玲子
 世間という
 大きな書物
 から
 学ぶ旅に出る

楮屋 二 岡本 恵泉
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

秋月 三段 堀口 静江
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

神水 四段 宇屋 美佐子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

名学 五 宗像 陽子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

文化 初 三宅 登夫
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

MM 二段 千葉 伶華
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

洗心 三 杉本 道南
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

港北 四段 長島 順子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

小諸 五 藤原 智巨
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

楮屋 半 横本 優子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

加茂 準二 中村 優子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

楮屋 準三 神田 宿禰
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

書学 準四 佐野 和代
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

子月 準五 岡田 乃里子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

大柳 三 内田 祐子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

楮屋 準二 高橋 圭子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

書学 準三 横田 又三
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

三原 基康 生 富美子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

書学 準五 森地 かつり
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

南草 薫 反田 将予
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

大柳 準二 正田 純興
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

書学 三 清水 有紀
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

香竹 準四 天竺 利衣子
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

書凡 準五 塚本 正為
 世間という
 大きな書物から
 学ぶ旅に出る

雪山に
春の夕焼
滝をなす
迎 國府田悠月 1

雪山に
春の夕焼
滝をなす
都城 平川和美 2

雪山に
春の夕焼
滝をなす
清和 高島あゆみ

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 磯上草春

雪山に
春の夕焼
滝をなす
立親 三原智佳子

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 小泉しのぶ

雪山に
春の夕焼
滝をなす
大楠 繁田香子 3

雪山に
春の夕焼
滝をなす
羊 内藤茶々江 4

雪山に
春の夕焼
滝をなす
清光 大橋修子 5

雪山に
春の夕焼
滝をなす
修登 向井千恵美 8

雪山に
春の夕焼
滝をなす
文教 向山真由美 1

雪山に
春の夕焼
滝をなす
星霜 福川純代 3

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 林公美 5

雪山に
春の夕焼
滝をなす
津 園田恵 6

雪山に
春の夕焼
滝をなす
胞山 行入康彦 9

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 伊藤照美 2

雪山に
春の夕焼
滝をなす
荻窪 村田和子 3

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 安藤雅子 5

雪山に
春の夕焼
滝をなす
雪月 中陽恵子 7

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 垣坂紅葉 9

雪山に
春の夕焼
滝をなす
文教 橋本紗弥 2

雪山に
春の夕焼
滝をなす
石鴉 濱田由香 4

雪山に
春の夕焼
滝をなす
淡水 増本智子 5

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書学 福田恵子 7

雪山に
春の夕焼
滝をなす
書凡 上田恵泉 10

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

新書 小柳 浩美

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

書字 久間砂登美

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

書字 吉田 裕子

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

書字 宗像 陽子

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

書字 阿部 文江

西園翰墨林

書字 岡本 惠泉

西園翰墨林

大井 高橋千賀子

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

桃林 斎藤 江葉

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

水荃 松井みゆき

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

紅彦 高 ななみ

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

長倉 阿部 宏美

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

和同 吉田 明子

西園翰墨林

國寺 坂本 琉維

西園翰墨林

山室 伊東美佑菜

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

ブヲ 高橋久美子

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

栗丘 中山 知翔

從教屋外陰風吼臥
聽籬頭響玉簫

九書 井上 恵子

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

書字 細川 美帆

蓬萊闕下長相憶桐
柏山頭去不歸

湘花 高橋 佳子

西園翰墨林

書字 林 実千子

西園翰墨林

高尾 伊東 佳代

あまのほろのむらさきつらね
許さずしてしるすに梅哉

松飛 鹿毛 坤雨

シヨ 俵木 郁子

浅きうねりのうねりつらね
しるすに梅哉

永岳 岡部 瑛心

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

書字 槻木 新一

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

MM 千葉 怜華

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

沙扇 小池 真実

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

書字 平山 日向

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

書字 奥島 彩舟

月倫 清水 君子

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

永岳 永田 千夏

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

兵庫 谷垣 昌代

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

安土 松尾 安樹

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

有彪 池田有紀子

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

桜塚 田中 久恵

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

栄 山田 青楓

水荃 布川裕美子

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

水荃 源 貴美

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

書字 林 友紀

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

柏華 横田 眞智

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

書字 葛西 志保

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

五香 寒河江保恵

あまのほろのむらさきつらね
しるすに梅哉

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

宮城 阿部 絹子

小沼 大塚 恵一

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

九書 井上 恵子

水荃 河合美由紀

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

大野真理子

魚占 依田 宏昭

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 笠原 玉蘭

香竹 天笠利衣子

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 大森 谷 拓弥

一葉 村磯 輝子

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 仙水 天舛久美子

森野 青木 努

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

紅炫 児玉 久容

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 大藤 鈴木 白藍

大森 谷 拓弥

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 三花 篠原 美佳

魚占 依田 宏昭

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 川窪 雪子

香竹 天笠利衣子

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 佐野 和代

九書 仲山由紀子

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

一葉 村磯 輝子

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 大藤 鈴木 白藍

森野 青木 努

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

紅炫 児玉 久容

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 大島 薫

大藤 鈴木 白藍

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

三花 篠原 美佳

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 川窪 雪子

香竹 天笠利衣子

断えまなき雪解のくもの立ち
 のぼる地平の上をわれ歩みけり

書字 佐野 和代

九書 仲山由紀子

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 大藤 鈴木 白藍

森野 青木 努

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

紅炫 児玉 久容

断えまなき雪解のくもの立ちのぼる
 地平の上をわれ歩みけり

書字 伊賀 岡田 宏美

紅炫 児玉 久容

教室名
天草
氏名
新 幾子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
栗原
氏名
佐 伯 政 子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
愛山
氏名
渡 邊 輝 介

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
九 書
氏名
長 谷 川 裕 美

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
福岡
氏名
白 木 祥 子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
熊 手
氏名
吉 川 千 代 子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
鷹 番
氏名
中 川 由 美 子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
平 泉
氏名
千 葉 方 彩

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
高 崎
氏名
新 保 昭 子

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
こゝま
氏名
植 田 玉 苑

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
白 山
氏名
松 岡 清 葉

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

教室名
和
氏名
高 橋 和 美

花にやまがけて首尾よく合格の由
日ごろのご勉強が実を結びめでたく
ご卒業ころからお祝い申し上げます

審査評—秋山 凌雲

規定 「紙短情長」



書字 金子 一彦
力強く重厚で堂々たる漢印風白文印。一刀一刀に心こもる線質で味わい深い作である。



書字 嬉野満利子
縦長の空間に巧みに布字している。自在な線の強弱で立体感と興行が生じ、古雅な趣のある作となった。



新書 宮城 康湖
金文を題材に強靱な線質と確かな運刀で刻された一顆。内輪郭による縁取りが作品を引き締め、力強い線質と調和している。

随意 「誠敬」



島田 田村 潔
金文を手慣れた刀法で刻した秀作。章法に優れ、疎密の対比が鮮やか。線も伸びやかな為印面に明るさがある。

規定 (密)

審査評—立川 井梧

書美の真髄を求める漢字の一字書——



采女 熊野 素心 ウ冠はダイナミックで躍動の表情。「密」は字画に密度ある重量感の味わいだが、やや含墨過多か。左側の余白と押印は効果高めた。



伊賀 山田 善永 草書体で自然に表現し筆脈一貫、軽妙な筆鋒の動きは明快で安定している。運筆に緩急の変化を与えたなら更に引き立てるのでは。



書字 櫻井真知子 大胆な筆勢と表現力は生動して圧巻される。やや等筆圧ながらも線は流動自在である。山の位置表現力は美事である。



書字 藤森 泰明 如何に余白を明るくお面白くするか。考案された造型は、工夫と実践の積み重ねの成果だと実感した。右寄せの字形に横線と山は印象深い。

随意 (さ)

審査評—立川 井梧

詩情や筆遣ひの極意を知る平かな表現——



美浜 田中 伸明 遠近法の手法を用いて、線質は清らかで気品高い。蔵鋒で筆先を沈めた線と一瞬の速度の筆遣いが見事な表情を見せている。



宮城 武田 清流 素直な造型に筆勢と沈着性の筆路が自在に表現された。二画面と三画面の余白と全体の白が輝く。押印位置7cm程左へ。



水窪 山崎ミユキ 剛健的な筆致を見せ、線情に変化多様な線の表現に相まって、最終画反り返りはユニークで好感する。



九書 山内 静香 左の原字の骨格を思い感じる。運筆は超特急なれど、線の太細を軽妙な筆遣いで書き上げた手腕は確かだ。